

平成28年度 維持管理状況(9月1日～30日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名等	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突) (O ₂ 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去
	t/日			t	℃	℃	ppm	
目黒	600	1号炉	燃	6,257.45	857~1,107	159~161	1~40	ボイラ設備の除じんはボイラストロブロー又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。
		2号炉		5,316.11	915~1,058	159~161	1~11	
有明	400	1号炉		5,502.28	975~1,112	173~177	2~43	
		2号炉		5,432.58	1,031~1,199	173~176	1~36	
千歳	600	1号炉		15,686.42	938~1,082	156~162	3~12	
江戸川	600	1号炉		6,409.92	873~988	170~171	0~5	
		2号炉		5,376.48	853~901	170~171	0~11	
墨田	600	1号炉		13,158.95	985~1,095	159~161	0~1	
北	600	1号炉		13,413.49	893~1,182	161~173	2~19	
新江東	1,800	1号炉		16,215.07	910~1,128	168~174	0~44	
		2号炉		中間点検				
		3号炉		16,589.84	927~1,121	168~174	0~26	
港	900	1号炉		8,532.47	963~1,163	166~168	1~25	
		2号炉		468.55	973~1,098	168~169	2~13	
		3号炉		7,726.45	982~1,166	164~167	0~28	
豊島	400	1号炉		5,179.19	870~921	167~169	2~61	
		2号炉		5,341.35	871~922	164~167	2~61	
渋谷	200	1号炉		4,576.91	928~1,017	146~155	0~36	
中央	600	1号炉		7,829.11	903~1,083	148~152	1~16	
		2号炉		7,743.25	903~1,050	147~152	1~57	
板橋	600	1号炉	5,708.27	891~1,196	161~168	0~6		
		2号炉	150.93	960~1,045	159~161	2~10		
多摩川	300	1号炉	3,336.31	885~1,026	155	0~6		
		2号炉	3,535.43	866~1,013	155~156	0~6		
足立	700	1号炉	8,917.10	869~1,033	172~175	1~27		
		2号炉	7,566.03	846※①~1,063	171~173	0~75		
品川	600	1号炉	8,100.28	897~1,034	159~166	0~28		
		2号炉	定期点検補修					
葛飾	500	1号炉	6,653.23	913~1,074	156~165	3~40		
		2号炉	137.49	956~994	157~164	9~64		
世田谷	300	1号炉	2,727.99	869~1,033	167~184	0~80		
		2号炉	4,298.45	913~1,021	168~193	0~76		
大田	600	1号炉	7,676.54	839~987	152~162	5~57		
		2号炉	7,818.00	877~981	152~165	6~29		
練馬	500	1号炉	6,581.58	842~974	153~166	2~175※②		
		2号炉	4,771.15	839~972	154~166	2~103※③		

注:大田清掃工場 第一工場、中防灰溶融施設、破碎ごみ処理施設は休止しています。

光が丘清掃工場は平成28年9月16日をもって廃止しました。

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(＊)

平成28年度 維持管理状況(9月1日～30日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 足立清掃工場 2号炉 9月11日(日) 18:00
燃焼室ガス温度が、846℃を記録した。
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。
直ちに、二次燃焼バーナ、助燃バーナの運転、燃焼空気量の調整及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。
その結果、維持管理計画値以上の正常な状態に回復した。
- ② 練馬清掃工場 1号炉 9月25日(日) 18:00
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で175ppmを記録した。
原因は、ごみ質の変動により燃焼が過剰となり炉内の酸素が不足したことによる。
直ちに、燃焼用空気流量の調整及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を行った。
その結果、維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。
- ③ 練馬清掃工場 2号炉 9月25日(日) 18:00
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で103ppmを記録した。
原因は、ごみ質の変動により燃焼が過剰となり炉内の酸素が不足したことによる。
直ちに、燃焼用空気流量の調整及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を行った。
その結果、維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。